

NEC Expressサーバ  
Express5800/100シリーズ

**N8142-36**  
**EcoPowerGateway**

## ユーザーズガイド

## 商標について

EXPRESSBUILDERとESMPRO、ExpressPicnicは日本電気株式会社の登録商標です。

## オペレーティングシステムの表記について

Windows Server 2008はWindows Server® 2008 Standard operating systemおよびWindows Server® 2008 Enterprise operating systemの略称です。

Windows Server 2003 x64 EditionsはWindows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition operating systemおよびWindows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition operating systemまたは、Windows Server® 2003, Standard x64 Edition operating systemおよびWindows Server® 2003, Enterprise x64 Edition operating systemの略称です。Windows Server 2003はWindows Server® 2003 R2 Standard Edition operating systemおよびWindows Server® 2003 R2 Enterprise Edition operating systemまたは、Windows Server® 2003 Standard Edition operating systemおよびWindows Server® 2003 Enterprise Edition operating systemの略称です。

Windows 2000はMicrosoft® Windows® 2000 Server operating systemおよびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Server operating system、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。Windows Vista は Microsoft® Windows Vista™ Business operating systemの略称です。

Windows XP x64 Editionは、Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating systemの略称です。Windows XPはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略称です。

Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 3.51/4.0およびMicrosoft® Windows NT® Workstation operating system version 3.51/4.0の略称です。

Windows MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略称です。

Windows 98はMicrosoft® Windows®98 operating systemの略称です。

Windows 95はMicrosoft® Windows®95 operating systemの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

## ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

## 使用上のご注意（必ずお読みください）

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。  
また、本文中の名称については「各部の名称と機能」の項をご参照ください。

## 安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。

このユーザーズガイドには装置のどこが危険か、どのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています（本体に印刷されている場合もあります）。

ユーザーズガイド、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



**警告**







人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



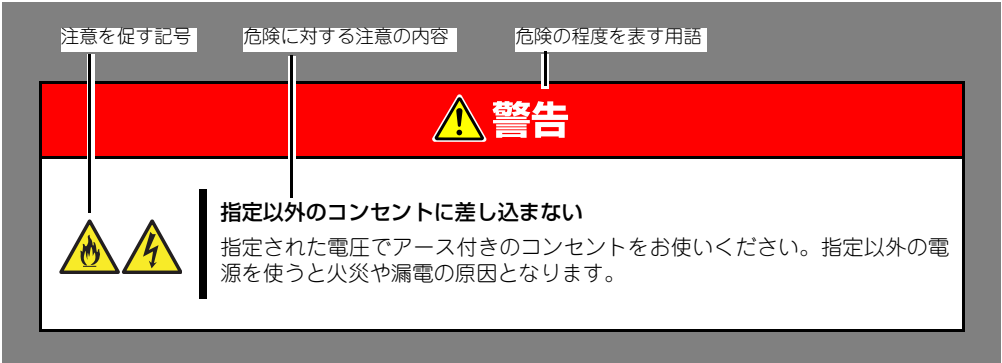
**注意**

火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	<b>注意の喚起</b>	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	<b>行為の禁止</b>	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (分解禁止)
	<b>行為の強制</b>	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜く)

（ユーザーズガイドでの表示例）



本書と警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれのあることを示します。		指がはさまれてけがをするおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	爆発または破裂のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		

行為の禁止

	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
	必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。		

## 安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明についてはiiiページの『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

本装置には、電源ユニットが搭載されています。感電しないように注意してください。また、ラックへの取り付け/取り外しの際には、けがをしないよう十分に注意してください。

### 全般的な注意事項

⚠ 警告	
	<p><b>人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない</b></p> <p>本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。</p>
	<p><b>自分で分解・修理・改造はしない</b></p> <p>本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。</p>
	<p><b>煙や異臭、異音がしたまま使用しない</b></p> <p>万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。</p>
	<p><b>針金や金属片を差し込まない</b></p> <p>通気孔や光ディスクドライブのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。</p>
	<p><b>腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない</b></p> <p>腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店や保守サービス会社にご相談ください。</p>

## ⚠ 注意



### 海外で使えない

本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用するとう災や感電の原因となります。



### 装置内に水や異物を入れない

装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。



### 中途半端に取り付けない

インタフェースケーブルや電源ケーブルは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。



### 指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。



### 高温注意

電源ユニットが高温になっていることがあります。十分に冷めたことを確認してから取り付け / 取り外しを行ってください。また、電源ファンから排出される排気は高温になっています。排気口付近に顔や手を近づけないようにしてください。



### 雷がなったら触らない

雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。




### ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入ると火災や感電の原因となります。


## 電源・電源コードに関する注意事項

**⚠ 警告**



**ぬれた手で電源プラグを持たない**

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



**アース線をガス管につながらない**

アース線は絶対にガス管につながらないでください。ガス爆発の原因になります。

**⚠ 注意**




**指定以外のコンセントに差し込まない**

指定された電圧で、アース付きのコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。なお、本装置に添付の電源コードは AC100V 専用です、それ以外の電圧のコンセントには接続しないでください。AC200V の電源環境で使用する場合は、弊社が指定する電源コード、AC タップを使用してください。また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください（ただし、オプション品である電源タップ（AC100V）を使用しての運用はこの対象外です）。本装置の電源仕様に合わせていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。電源 1 台あたりの消費電力は搭載する電源ユニットに貼り付けてあるラベルに記載されていますので、記載内容をご確認の上、容量に注意して接続してください。




**たこ足配線にしない**

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。



**中途半端に差し込まない**

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



**指定以外の電源コードを使わない**

本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードを束ねたまま使わない。
- 電源コードをステーブラ等で固定しない。
- 電源コードをはさまない。

- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードの上にものを載せない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 損傷した電源コードを使わない。（損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。）

**⚠ 注意**



#### 電源ユニットに添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない

電源ユニットに添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

## ラックの設置・取扱いに関する注意事項



### 警告



#### 指定以外の場所に設置しない

本装置は EIA 規格に適合した専用の 19 インチラックに取り付けて使用します。本装置を取り付けるラックを設置環境に適していない場所に設置しないでください。

本装置やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響を及ぼすばかりでなく、火災やラックの転倒によるけがなどをするおそれがあります。設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付のマニュアルを参照するか、保守サービス会社にお問い合わせください。



#### 規格以外のラックで使用しない

本装置は EIA 規格に適合した専用のラックに取り付けて使用します。EIA 規格に適合していないラックに取り付けて使用したり、ラックに取り付けずに使用したりしないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因となることがあります。使用できるラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。



### 注意



#### 定格電源を超える配線をしない

やけどや火災、装置の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。なお、電気設備の配線に関しては、電源工事を行った業者または、管轄の電力会社にお問い合わせください。



#### 1 人で搬送・設置をしない

ラックの搬送・設置は 2 人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。特に高さのあるラック（44U ラックなど）はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。必ず 2 人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。



#### 荷重が集中してしまうような設置はしない

ラックおよび取り付けた装置の重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。



## ⚠ 注意



### 1人で部品の取り付けをしない・ラック用ドアのヒンジのピンを確認する

ラック用のドアやレールなどの部品は2人以上で取り付けてください。  
また、ドアの取り付け時には上下のヒンジのピンが確実に差し込まれていることを確認してください。部品を落として破損させるばかりでなく、けがをするおそれがあります。



### ラックが不安定な状態で装置をラックから引き出さない

ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態（スタビライザの設置や耐震工事など）で引き出してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。



### 複数台の装置をラックから引き出した状態にしない

複数台の装置をラックから引き出すとラックが倒れてけがをするおそれがあります。装置は一度に1台ずつ引き出してください。

## 設置・移動・保管に関する注意事項

### 警告



#### 指定以外の場所に設置しない

本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 不安定な場所。



#### カバーおよび電源ユニットを外したまま使わない

本装置のカバーおよび電源ユニットを取り外した状態で使用しないでください。装置内部の冷却効果を低下させ、誤動作の原因となるばかりでなく、ほこりが入って火災や感電の原因となることがあります。



#### 指を挟まない

ラックへの取り付け・取り外しの際にレールなどで指を挟まないよう十分注意してください。



#### 落下注意

本装置をラックに取り付けるまたは取り外す際は、本装置をしっかり持ってください。ラック取り付けブラケットには、落下・脱落防止（ストッパ/ロック）機構がないため装置をラックからすべて引き出すと、装置がラックから外れて落下してけがをするおそれがあります。



#### ラックから引き出した状態にある装置に荷重をかけない

ラックから引き出された状態にある装置の上から重荷をかけないでください。フレームが曲がり、ラックへ搭載できなくなります。また、装置が落下し、けがをするおそれがあります。





### 注意



#### 装置を引き出した状態にしない

装置を引き出した状態のまま作業をしないでください。作業中に装置が脱落してけがをするおそれがあります。

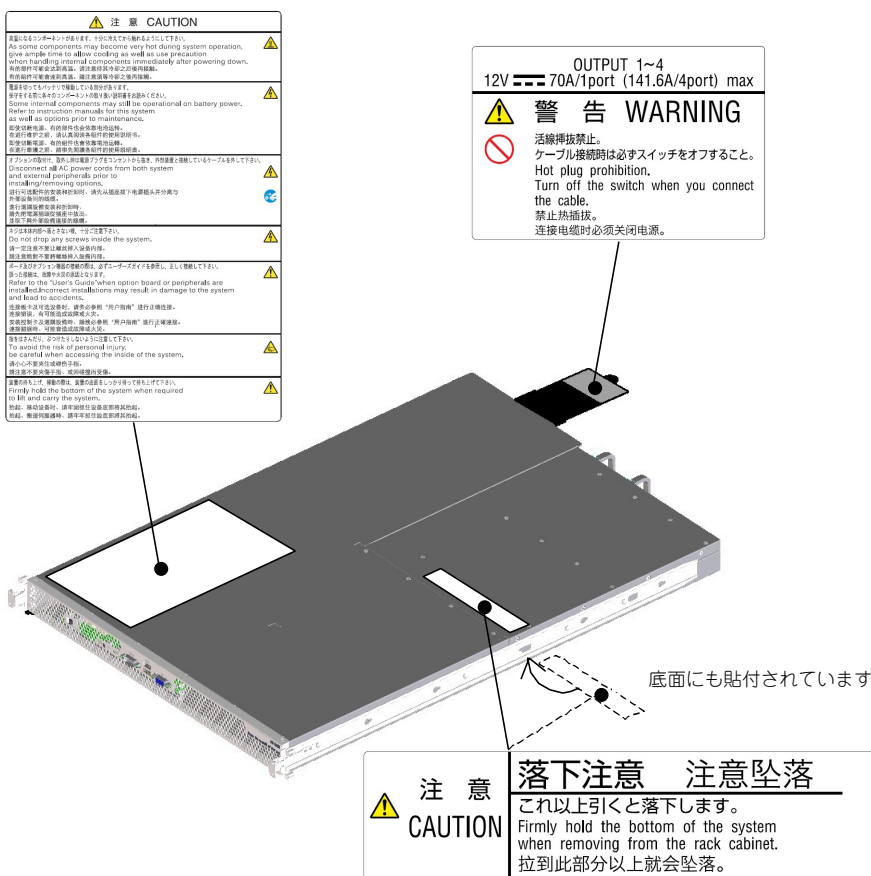
## 運用中の注意事項

 <b>注意</b>	
	<p><b>動作中に装置をラックから引き出さない</b></p> <p>システムの動作中に本装置をラックから引き出したり、ラックから取り外したりしないでください。装置が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。</p>
 	<p><b>筐体の上にものを載せない</b></p> <p>本装置が外れて周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。</p>

## 警告ラベルについて

装置の設置や取り扱い、デバイスの増設の際に、危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これは本製品の取り扱いの際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです（ラベルをはがしたり、汚したりしないでください）。もしこのラベルがはがれかかっている、汚れているなどして判読できないときは販売店にご連絡ください。

警告ラベル中の記号の意味については、巻頭の「安全に関わる表示について」を参照してください。



## 取り扱い上のご注意（装置を正しくお使いいただくために）

本装置を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると本装置の誤動作や故障の原因となります。



### 保守サービスについて

本装置の保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。  
本装置をいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

## EcoPowerGateway

- 本装置を取り付けることができるラックに搭載してください。
- 定期的に装置の外観や背面電源ユニットの通風口に付着しているほこりを取り除いてください。（清掃はXXページで説明しています。）定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。
- 落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として無停電電源装置等を使用することをお勧めします。
- 本装置から接続対象装置への給電は、必ず専用の電源ケーブルを接続して行ってください。
- 周辺機器へのケーブルの接続/取り外しは、本装置のPOWERスイッチをOFFした後に行ってください。
- 本装置電源のOFFは、本装置に繋がっている全ての装置がOFFしていることを確認してから行ってください。
- 本装置およびメンテナンスカードの電源を一度OFFした後、再びONにするときは30秒以上経過してからにしてください。
- 本装置と接続対象装置を専用の電源ケーブルで接続した後は、約30秒間はDC出力スイッチをONにしないでください。
- 電源ケーブルをコネクタから抜いた後、再び接続するまでは30秒ほど時間を空けてください。
- 本装置を移動する前に電源をOFFにして、電源コードをコネクタから抜いてください。
- 次の条件に当てはまる場合は、運用の前にシステム時計の確認・調整をしてください。
  - ー 本装置の輸送後
  - ー 本装置の保管後
  - ー 本装置の動作を保証する環境条件（温度：10℃～40℃・湿度：20%～80%）から外れた条件下で休止状態にした後

システム時計は毎月1回程度の割合で確認してください。

また、高い時刻の精度を要求するようなシステムに組み込む場合は、タイムサーバ（NTPサーバ）などを利用して運用することをお勧めします。

システム時計を調整しても時間の経過と共に著しい遅れや進みが生じる場合は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社に保守を依頼してください。

- 再度、運用する際、本装置の内蔵デバイスやメンテナンスカードを正しく動作させるためにも室温を保てる場所に保管することをお勧めします。  
装置を保管する場合は、保管環境条件（温度：-10℃～55℃・湿度：20%～80%）を守って保管してください（ただし、結露しないこと）。
- 本装置は、急激な温度変化に弱い精密部品を使用しています。装置の移動後や保管後、再び運用する場合は、動作環境になじませてからお使いください。
- 本装置の電源ON操作は、POWERスイッチやリモートパワーオンのいずれの場合も、電源供給開始後（電源ユニットのSTATUSランプが緑色に点灯後）、30秒以上経過してから行ってください。30秒以内に電源ON操作を行うと、電源がONにならない場合があります。この場合、本装置への電源供給を確認後、30秒以上待ってから再度POWERスイッチにて電源ONを行ってください。
- POST中は以下の行為をしないようにしてください。  
（外部アプリケーションからの同等機能も含む）
  - － EcoPowerGatewayのPOWERスイッチ、メンテナンススイッチを押す。
  - － 電源ユニットをEcoPowerGatewayから取り外す。
  - － 電源ユニットに接続されている電源コードを抜く。

## オプションの増設電源およびその他電子部品

- オプションは本装置に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ本装置に取り付けや接続ができていても正常に動作しないばかりか、本体が故障することがあります。
- オプションはNECの純正品をお使いになることをお勧めします。他社製品で本装置に対応したものもありますが、これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。

## 近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使わない

- 本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。

## 健康を損なわないためのアドバイス

コンピュータ機器を長時間連続して使用すると、身体の一部に異常が起こることがあります。コンピュータを使用するときは、主に次の点に注意して身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

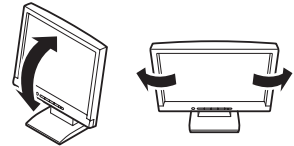
### よい作業姿勢で

コンピュータを使用するときの基本的な姿勢は、背筋を伸ばして椅子にすわり、キーボードを両手と床がほぼ平行になるような高さに置き、視線が目の高さよりもやや下向きに画面に注がれているという姿勢です。『よい作業姿勢』とはこの基本的な姿勢をとったとき、身体の中の部分にも余分な力が入っていない、つまり緊張している筋肉がもっとも少ない姿勢のことです。『悪い作業姿勢』、たとえば背中を丸めたかっこうやディスプレイ装置の画面に顔を近づけたままの状態で行うと、疲労の原因や視力低下の原因となることがあります。



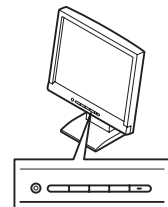
### ディスプレイの角度を調節する

ディスプレイの多くは上下、左右の角度調節ができるようになっています。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくしたりするためにディスプレイの角度を調節することは、たいへん重要です。角度調節をせずに見づらい角度のまま作業を行うと『よい作業姿勢』を保てなくなりすぐに疲労してしまいます。ご使用の前にディスプレイを見やすいよう角度を調整してください。



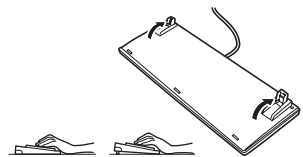
### 画面の明るさ・コントラストを調節する

ディスプレイは明るさ（ブライトネス）・コントラストを調節できる機能を持っています。年令や個人差、まわりの明るさなどによって、画面の最適なブライトネス・コントラストは異なりますので、状況に応じて画面を見やすいように調節してください。画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると目に悪影響をもたらします。



### キーボードの角度を調節する

オプションのキーボードには、角度を変えることができるよう設計されているものもあります。入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕、指への負担を軽減するのにたいへん有効です。



### 機器の清掃をする

機器をきれいに保つことは、美観の面からだけでなく、機能や安全上の観点からも大切です。特にディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると、表示内容が見にくくなりますので定期的に清掃する必要があります。

### 疲れたら休む

疲れを感じたら手を休め、軽い体操をするなど、気分転換をはかることをお勧めします。



# はじめに

このたびは、N8142-36 EcoPowerGatewayをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品は、4ポートで合計1700Wを供給可能なDC電源装置です。ラック内のサーバへのDC電源供給を本装置に集約することにより、従来よりも高密度なシステムの構築を実現します。また、電力構成に応じ、オプションで増設が可能です。(標準搭載2台とあわせ、計4台まで搭載可能)

本製品の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、製品の取り扱いを十分にご理解ください。

## 本書について




本書は、本製品を正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。セットアップを行うときや日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全性を含めてご利用ください。

本書は常に本装置のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、WindowsやLinuxなどのオペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザーを対象として記載されています。

## 本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。



# 本書の構成について

本書は2つの編から構成されています。それぞれの編では次のような説明が記載されています。なお、巻末には索引があります。必要に応じてご活用ください。



「使用上のご注意」をはじめにご覧ください

本編をお読みになる前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」をお読みください。「使用上のご注意」では、本製品を安全に、正しくお使いになるために大切な注意事項が記載されています。

## 第1編 ハードウェア編

本製品のハードウェアに関する説明をしています。各部の名称やその機能、設置にふさわしい場所に関する説明、オプションの増設方法について知りたいときに参照してください。

## 第2編 運用・保守編

本装置を運用する上で知っていただきたい情報が記載されています。また、「故障かな?」と思ったときは、本装置の故障を疑う前に参照してください。

# 付属品の確認

梱包箱の中には、本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成チェックシートを参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



## 付属品について

添付品はセットアップをするときやオプションの増設、装置が故障したときに必要となりますので大切に保管してください。

# 消耗品・装置の廃棄について

- EcoPowerGateway、DVD-ROM、オプションのPSU、ボード、バッテリーなどの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。なお、製品添付の電源コードにつきましても、他製品への転用を防ぐため、本体と一緒に廃棄してください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。




- メンテナンスカード上にあるバッテリーの廃棄（および交換）についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。
- ハードディスクドライブやバックアップデータカートリッジ、その他書き込み可能なメディア（CD-R/CD-RWなど）に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要です。

- 本体の部品の中には、寿命により交換が必要なものがあります。製品を安定して稼働させるために、これらの部品を定期的に交換することをお勧めします。交換や寿命については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社にご連絡ください。

# 装置の輸送について

本体およびオプションなどには、リチウム金属電池あるいはリチウムイオン電池を使用しています。リチウム電池の輸送に関しては、航空・海上輸送規制が適用されますので本体およびオプションの航空機、船舶等での輸送については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社へお問い合わせください。

# 目次

 使用上のご注意（必ずお読みください）.....	iii
安全にかかわる表示について.....	iii
本書と警告ラベルで使用する記号とその内容.....	iv
安全上のご注意.....	v
全般的な注意事項.....	v
電源・電源コードに関する注意事項.....	vii
ラックの設置・取扱いに関する注意事項.....	viii
設置・移動・保管に関する注意事項.....	x
運用中の注意事項.....	xi
警告ラベルについて.....	xii
取り扱い上のご注意（装置を正しくお使いいただくために）.....	xiii
EcoPowerGateway.....	xiii
オプションの増設電源およびその他電子部品.....	xiv
近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使わない.....	xiv
健康を損なわないためのアドバイス.....	xv
はじめに.....	xvi
本書について.....	xvi
本文中の記号について.....	xvi
本書の構成について.....	xvii
付属品の確認.....	xviii
消耗品・装置の廃棄について.....	xviii
装置の輸送について.....	xviii

## 1 ハードウェア編

各部の名称と機能.....	2
装置前面.....	2
装置背面.....	3
電源スロットに搭載する電源ユニットの台数について.....	4
ランプ表示.....	5
本装置前面.....	5
POWERランプ ( ).....	5
UID（ユニットID）ランプ.....	5
STATUSランプ ( ).....	5
メンテナンスランプ.....	6
本装置背面.....	6
DC出力ランプ1～4.....	6
UID（ユニットID）ランプ.....	6
LINK/ACTランプ ( ).....	7
100/10ランプ.....	7
設置と接続.....	8
設 置.....	8
ラックの設置.....	8
ラックへの取り付け/ラックからの取り外し.....	9
構成品の確認.....	10
取り付け手順.....	10
取り外し手順.....	13
接 続.....	15
本体正面.....	16

本体背面 .....	16
基本的な操作 .....	18
電源のON .....	18
DC出力のON/OFF .....	19
メンテナンスモードの起動 .....	21
電源のOFF .....	22
デバイスの確認 .....	22
内蔵オプションの取り付け .....	23
安全上の注意 .....	23
N8181-76 電源ユニット .....	24
静電気対策について .....	26
取り付け/取り外しの準備 .....	27
取り付け/取り外し後の確認 .....	28
システムBIOSのセットアップ (SETUP) .....	29
概 要 .....	29
起 動 .....	30
キーと画面の説明 .....	31
設定例 .....	33
パラメータと説明 .....	35
Main .....	36
Processor Settingsサブメニュー .....	38
Advanced .....	39
Memory Configurationサブメニュー .....	40
PCI Configurationサブメニュー .....	41
Peripheral Configurationサブメニュー .....	43
Security .....	45
Server .....	47
Boot .....	61
Exit .....	62

## 2 運用・保守編

---

日常の保守 .....	66
アラートの確認 .....	66
STATUSランプの確認 .....	67
クリーニング .....	68
本体のクリーニング .....	68
障害時の対処 .....	69
障害箇所の切り分け .....	69
エラーメッセージ .....	70
サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ .....	70
トラブルシューティング .....	71
本体について .....	71
障害情報の採取 .....	72
保守ツール .....	73
移動と保管 .....	74
ユーザーサポート .....	76
保証について .....	76
修理に出される前に .....	77
修理に出される時は .....	77
補修用部品について .....	77

保守サービスについて .....	78
情報サービスについて .....	79
付録A 仕 様 .....	81
付録B 保守サービス会社網一覧 .....	82
索 引 .....	87

